戦争する国への安倍改憲許さない

9月20日、自民党総裁選が行なわれ、安倍晋三氏が3選されました。国民多数が改憲を求めていないにもかかわらず、安倍氏は年内にも改憲案を国会に提出するなどと発言をくり返しています。9月12日の教宣部会に参加した皆さんに、憲法を守り、活かす自らの想いや支部での改憲を許さない取り組みについて寄稿してもらいました。

為政者には擁護義務
首相が唱えるのは筋違い

浅見さん

【墨田・タイル・浅見英夫通信員】日本国憲法は個人の尊厳を守るというテーマを持ち、国民主権主義、平和主義、基本的人権の尊重という3原則からなっている。主権者である国民へ権力者の政治家や公務員が不利益を与えないようにと権力側を縛り暴走させないためにあると言える。

為政者たる総理大臣が自ら憲法改正を唱えるのは筋が違う。我々主権者がその意志を持って改憲を求めて行なうのが本来のあるべき姿だと言える。いつか来た道を再びたどらせてはならない。

戦争を知る世代が急速に減少している今こそ、私たちのそれぞれの意志を次の世代につなぐ必要がある。憲法九条を引き継ぐことに多くの国民が賛成の意志を示していることがアンケートなどで明らかになっている。今年は自然災害が多く、自衛隊の皆様の活動がとても心強く頼もしいと感じている。平和を前提にしているからこそで、戦争下の行動はノーである。

3791筆集めた
巣鴨地蔵通りで訴える

新井さん

【豊島・タイル事務・新井睦子通信員】豊島支部は、10月まで毎月14日に巣鴨地蔵通り商店街で3000万人署名に取り組んでいます。現在、3791筆を集め、目標の37・1%になりました。巣鴨という土地柄か年配の方に署名をいただくことが多く「戦争はもう2度とイヤ。署名がんばって」と励ましの声をいただいています。

今年の夏、渡辺治さんの講演を聞く機会があり、市民運動として改憲を阻止するために3000万人署名に取り組み、目標を達成するためには3000万人以上の人にあたっていかねばならない。たとえ署名をしてくれなくても訴えることが大事と話されました。

10月まであと少しですが、改憲阻止、平和のためにがんばりたいです。

戦争する国にノー
父はシベリアで強制労働

三塚さん

【町田・設計・三塚茂明通信員】私の父は、満州（ロシアと中国の国境付近）で捕虜となり、シベリア（今のロシア）に送られ、強制労働に従事した。冬になると氷点下30度という極寒の中、外での重労働である。寒さと疲労で多くの仲間が死んでいったとよく話していた。

安倍首相は戦後レジュームからの脱却と言っているが、戦前に戻れば富国強兵を意味し、戦争する国にするということだと思う。

駅に行く途中にも自衛隊募集のポスターが目に付くようになった。以前はあまりなかったような気がする。憲法九条があるにもかかわらず、自衛隊は海外に派遣されるようになった。

もし、憲法九条が変えられることがあれば、自由にものが言えなくなり、アメリカと一緒になって戦争する国になるだろう。憲法九条を変える必要性は全くないと思う。

ひどすぎ国会無視
集団的自衛権を数の力で

西村さん

【日野・電気・西村滋雄通信員】「国会でやることではなく、憲法審査会議でたくさん議論を戦わせるべきだ」と安倍さんは憲法改正の議論を避けて来た。その人がゴリ押しとも思えるように改正を声高に言い放つ。

この3～4年の間に憲法の精神は歪められて来た。個人の権利よりも公的な物が上になり、その公的な物は隠ぺいしやすくなり、それを法律で保護する。アメリカと歩調を合わせることを是として、集団的自衛権を数の力で押し切ってしまう。国会無視もここに極まり。「憲法九条」がノーベル平和賞をとったら、この国の政治を任せられている人達も考えを改めてくれるのだろうか。

この頃、日野支部の新聞編集委員で度々横田基地に行くことがある。目的はオスプレイの写真だが、なかなかつかまらない。そして考える。「この国が大戦以前に戻る日が来るのかな」と。絶対イヤだ。

政治家の過信怖い
「すべてを動かしている」

細貝さん

【葛飾・清掃・細貝文洋通信員】本来であれば、時の権力者は憲法を守らなくてはならなかったのですが、今は国家の権力者が憲法を無視して、自分たちに、よい方に判断をしようとしています。

たとえば以前の自民党は派閥があって、「このようにしたい」などと訴えても牽制し合って決まらないこともありました。最近では「箱入り息子」のような方が、家の中での行ないがOKならば、家の外でも同じようにOKだと思っているようで、嘘も平気でつきます。すべてを動かしているのは自分だと思っている方が、日本を動かしていると思うと本当に怖いです。

日吉の地下壕見て
日本がしたことを理解

大鐘さん

【渋谷・造形制作設計・大鐘弘資通信員】私は、政党そのものには関心のない人間です。しかし政治の目的について、及び国民が求めていることについては、考えを持っています。

憲法9条の改悪、この問題につきましては、世界から見た日本、日本から見た世界、日本人として日本をよく考える必要があると思っています。現与党が安倍政治から石破政治に変わったところで改悪の本筋は何も変わらないと思っています。

戦争は何があっても反対です。この夏、戦争遺跡の日吉の地下壕を見てきました。日本が何をしてきたかも理解しているつもりです。世界の中の日本として改憲が必要だとしても、改憲により戦争できる日本にしてはいけないと考えています。

九条変えないで
毎月2回の宣伝実践

宗像さん

【狛江・大工・宗像勇通信員】安倍首相の改憲発言はとても危険です。総裁3選が決まって、改憲の動きがますます進むと思います。

私は、日本が先の戦争で2度にわたって原爆を投下されるなど悲惨な経験をしたことにあらためて思いをめぐらせ、九条は変えてほしくないです。

支部でも3000万人署名をがんばってやっています。月に2回の宣伝行動や平和学習も取り組んでいます。

首相の真意が不明
30年ぶりの電話で署名依頼

田口さん

【府中国立・塗装事務・田口久子記】府中国立支部では3000万人署名を取り組んでいます。私も隣人や姉たちに依頼しました。子どもの同級生の親には、30年ぶりに電話をしました。かたい話になってしまったことに恐縮したり、笑ったりしながらも快く応じてくれました。

それにつけても安倍首相は何を急いで改憲の発言を繰り返しているのか、その真意が分かりかねます。憲法学者の講演会にも何度か足を運んで勉強してきたつもりですが、まだまだ理解しかねるなと思ってしまいました。首相は改憲に傾ける情熱の一部でも、国の現状、水害や地震に見舞われた国民のために注いでほしいと思っています。

戦争に行くことになるかもしれないのがわかっているのか、今の若者に問いたいと思うこともあります。戦争に行き、ソ連に抑留された身内のことを思ったりしていると、平和ボケでもよい、平和がいつまでも続くように祈っています。

平和でこその建設業
首相立ち止まり考え直せ

遠藤さん

【台東・建築土木サービス・遠藤顕寛通信員】平和でこそ成り立つ建設土木の仕事。この思いで東京土建では3000万署名が始まったことと思います。台東支部では、本部の提起した「100人署名チャレンジャー」を達成した仲間が2人います。

安倍自公政権プラス維新で改憲を強行する計画かもしれませんが、PKO（国連平和維持活動）等で派遣され帰国した少なくない自衛隊員が、PTSD（心的外傷後ストレス障害）になり、直接の原因でないにしても帰国後に自死した隊員もいたそうです。

安倍首相は立ち止まって考え直すべきです。

日本国憲法を守るのではなく、戦争が起こらない憲法にしていく運動が必要です。